

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
中学校第3学年	はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? これまでの経験についての対話や日本のポップカルチャーについての話を聞いて、要点を捉えることができる。	Unit 3 How can we save animals? 環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章を読んで、要点を捉えることができる。	Unit 4 How can we help each other in a disaster? 防災への意識を高め具体的な行動を取るために、どのような備えをしておくべきかなどについて伝え合うことができる。	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話すことができる。	Unit 2 How do you choose your clothes? すでに終えていること、今まで継続していることや人や環境にやさしいファッションの取り組みについての話を聞いて、要点を捉えることができる。
中学校第2学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
	Unit 1 What can we experience on a trip? お互いの予定を知るために、休暇や週末の予定などについての対話を聞いて、主な内容を理解することができる。	Unit 2 What is local food? 料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えることができる。	Unit 4 What is important in a homestay? 海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	Unit 1 What can we experience on a trip? 留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表することができる。	Unit 5 What design is good for everyone? どのようにしたらよいかを理解したりだれかに説明したりするために、使い方や方法について、大まかな内容を捉えることができる。
中学校第1学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
	Unit 2 Our New Teacher 身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	Unit 6 A Rakugo Performer from the UK 文化やことば、服装などについて、必要な情報を読み取ることができる。	Unit 4 Friends in New Zealand おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、指示や助言をしたりすることができる。	Unit 5 My Brother in Hawaii クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、友達紹介のスピーチをすることができる。	Unit 3 Our School 疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知ったりするために、ものや人、方法や時、場所についての対話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。
小学校第6学年	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
	Unit 1 This is me! 好きなもの、宝物などに関する話を聞いて、おおよその内容を理解することができる。	Unit 4 Let's see the world. 友達が作成した「行きたい国カード」を読み、友達が行ってみたい国やその国でできることなどが分かる。	Unit 2 My Daily Schedule 日常生活について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	Unit 3 My Weekend 週末にしたことについて、行った場所、楽しかったこと、感想など伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。	Unit 6 Save the animals. 生き物の暮らしについての話を聞いて、生き物の暮らし場所とかかえている問題をなどについて、おおよその内容を理解することができる。
小学校第5学年	ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現、具体的な情報を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について話したり、自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができる。語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	Unit 3 Can you play dodgeball? 登場人物ができることについて、聞き取ることができる。 【A小】	Unit 1 Hello, friends! 自己紹介の場面で、活字体の大文字を識別し、名前の綴りを“A-K-I-N-A”などと発音することができる。	Unit 6 At a restaurant. ていねいに注文したり、値段を尋ねたり、答えたりすることができる。	Unit 4 Who is this? 身近な人の性格やできることなどについて、話すことができる。	Unit 5 Where is it from? 身の回りのものを通して世界とのつながりを考えながら、グループで考えた世界とのつながりについて、伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。
小学校第5学年	Unit 4 Let's go to the zoo. 町にあるものやその場所がどこにあるかなど具体的な情報を聞き取ることができる。 【B小, C小】	Unit 4 Who is this? 友達が作成した「人物紹介カード」を読み、身近な人の性格やできることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	Unit 7 Welcome to Japan! 行きたい日本の場所やその理由、そこでしたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	Unit 8 Who is your hero? 自分のあこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。	Unit 8 Who is your hero? 「あこがれの人カード」を作成する活動を通して、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

二重線枠：特に小中接続を意識して指導する学年(小6・中1)

太枠：各中学校区で重点を置いて指導する領域

BRIDGE: 小中接続のために重点を置いて指導する単元等